

## 静岡県稲門祭2023開催要項

日時：令和5年8月5日(土) 13:00~19:00 (受付12:00~)

会場：ホテルグランド富士

〒416-0913 静岡県富士市平垣本町8番1号 電話 0545-61-0360

※JR富士駅北口徒歩7分

※東海道新幹線新富士駅富士山口より タクシー10分

主催：早稲田大学校友会静岡県支部

主管：東部校友会 岳南稲門会(静岡県稲門祭2023実行委員会)

日程：①静岡県支部総会 13:00~13:45 エフの間  
②大学理事講演会 14:00~14:45 富士の間 ※現在大学側と調整中  
③富士山リレー講演会 15:00~16:30 富士の間 《詳細は別紙1参照》  
④静岡県支部懇親会 17:00~19:00 孔雀の間

### 【同時開催】

⑤商議員懇談会 11:00~12:00 朝霧の間  
⑥進学座談会 12:00~13:30 富士の間 《詳細は別紙2参照》

### ○参加申込み方法

所属する静岡県内の稲門会へご確認ください。

### 《お問い合わせ先》

岳南稲門会 静岡県稲門祭2023実行委員会

メール shizuoka.tomonsai.2023@gakunan-tomon.net

電話 090-4857-8046(実行委員会委員長・森田正郁)

静岡県稲門祭 2023 「富士山リレー講演会」企画書

(1) 開催日時 令和 5 年 8 月 5 日（土）15:00～16:30

(2) 会 場 ホテルグランド富士 富士の間

(3) 趣 旨 等

富士市・富士宮市のいわゆる岳南地域は、富士山の恵みを受けて発展してきた地域です。折しも 2023 年は富士山が世界文化遺産に登録されて 10 周年を迎えました。

そうしたことを踏まえ、今回の講演会は「富士山～私たちが富士の麓で暮らし続けるために」をテーマに、いくつかの観点から複数の講師を迎えて、これまで私たちは富士の麓でどのように生きてきたのか、今どのように生きているのか、これからどのように生きていくべきかを、ともに考える内容にしたいと考え、「富士山リレー講演会」を企画しました。

岳南地域で暮らす人々にとっては当たり前存在する富士山を、もう一度学び、その豊かな自然風土の中で形成されてきた暮らしが持続するためのきっかけとなる講演会にしたいと思います。

(4) 講演内容

1 私たちにとっての富士山（30分）

講 師 静岡県富士山世界遺産センター学芸課 井上卓哉准教授

内 容 富士山は、私たちにとってどのような存在なのか。また、富士の麓で人々はどのような暮らしをしてきたのか。富士山が世界文化遺産登録 10 周年を迎えた今、富士山について再認識する。

2 富士山と産業（20分）

講 師 天間特殊製紙株式会社 代表取締役社長 金子武正さん（1970 卒・商）

内 容 岳南地域の豊かな暮らしは、富士山の豊富な地下水と製紙産業の発展があつてこそ。そして今、富士の麓で育まれる最先端の素材開発、セルロースナノファイバー（CNF）の現状を知り、富士の麓の産業の「これから」を考える。

3 富士山と交流観光（15分）

講 師 富士市観光PR大使 第36代かぐや姫 佐藤夏音さん（2023 卒・商）

内 容 霊峰富士は世界に誇る景観であり、それを目的に岳南地域を訪れる人、また岳南地域に移住する人は多い。観光都市として、また安住の地として、これから岳南地域はどのような発展をしていくべきかを若い世代から発信してもらおう。

#### 4 富士山と人々の繋がり（5分）

講 師 岳南稲門会幹事 原孝至（2004 卒・法）

内 容 コロナ禍で薄れた人と人との繋がり。しかし、人々が豊かに暮らすには、その繋がりが必要であることは言うまでもない。岳南稲門会、また、東京六大学校友会が人と人との繋がりをもつために取り組んでいることを紹介する。

#### (5) 富士山リレー講演会番外編

静岡県稲門祭の懇親会において、富士山リレー講演会の番外編として、次のミニ講演を開催したいと思います。

演 題 （仮）富士山女子駅伝誕生秘話／裏話

講 師 (株)フジテレビジョン 佐野瑞樹アナウンサー（1994 卒・人間科学）

内 容 昨年、第10回を迎え、今や年末の風物詩となっている富士山女子駅伝。第1回から中継に携わってきた地元出身の佐野瑞樹アナウンサーに富士山女子駅伝の誕生秘話やその舞台裏について語ってもらう。

静岡県稲門祭2023「進学座談会」企画書

【概要】

開催日時 令和5年8月5日(土) 12:00~13:30

会場 ホテルグランド富士 富士の間

【趣旨等】

岳南稲門会の主管で開催する「静岡県稲門祭2023」において、岳南地域に在住する早稲田大学志望学生や、早稲田大学に興味を持ってきている保護者などを対象に「進学座談会」を開催します。

現役学生及び20代半ばの岳南稲門会の若手会員が、一般的な進路相談にとどまらず、早稲田大学を志した動機や、実際の大学生活などについて等身大の体験談を語る座談会形式の懇談会です。

今回開催する「進学座談会」のテーマやこだわりは下記のとおりです。

◆なぜ相談会ではなく「座談会」なのか

早稲田大学は公式に進学相談会を実施しており、予備校等でも受験指導が広くなされています。ですから今回の企画では、単に受験テクニックを伝えるのではなく、参加者である現役中高生やそのご家族にも積極的にご発言いただき、双方の肩の力を抜いた座談会とします。

私たち岳南稲門会会員や現役学生が台本通りの説明をするのではなく、参加者の方にも自由に発言してもらうことにより、活きた体験や考え方をお伝えすると同時に、現役学生や岳南稲門会の若手会員との交流を通じて、楽しい時間を過ごしてもらいたいと考えています。

◆座談会のテーマ

座談会のテーマについては、

- ① いつごろどんな理由で早稲田を目指した？
- ② 早稲田合格に向けてどんな対策をした？
- ③ 今、何を目指してどんな勉強をしている？
- ④ 早稲田大学生のリアルな学生生活を教えて！
- ⑤ 早稲田大学卒業者は、岳南地域でどんな仕事をしているの？

などの、進学や学生生活のリアル、卒業後の進路につき、現役中高生、現役早稲田大学生、社会人として岳南地域で働いている岳南稲門会の若手会員それぞれの立場から話をするを考えています。

今回は「座談会」であるため、参加者の方や現役学生の方の話から、様々な方向に自由にテーマが展開していくことを期待しています。

様々な経歴、バックボーンを持つ現役学生や岳南稲門会の若手会員が出席する予定ですので、参加者の方は、上記のテーマにとらわれずに、とっておきの質問を携えてご参加いただければと思います。

#### ◆座談会の進め方

今回の「進学座談会」は、資料の用意された説明会や個別の受験指導を行う相談会とは異なり、自由に意見を交換したり経験談を伝えたりする形式の企画です。

現役中高生及びそのご家族には、現役早稲田大学生や早稲田大学OBである岳南稲門会の若手会員に向けて、質問をぶついたり、大学生活の実態や雰囲気を感じ取ってもらったりと、様々なニーズに答えられるものになりたいと思います。

現役大学生においては、後輩となる現役中高生に向けて自分の体験談や大学生活の実態を伝えることで、後輩の受験合格や将来のビジョン構築の助けとなることを期待しています。

また、早稲田大学卒業者が、岳南地域でどのような仕事をし、どんな暮らしをしているのか、早稲田大学卒業者間の繋がりがどの程度あるのか、ということについて岳南稲門会の若手会員から活きた経験談をお伝えできると思いますので、卒業後の進路選択等に大いに役立てていただければと考えています。

上記のような趣旨に加え、現役中高生や大学生、岳南稲門会の若手会員の間の交流という点も主眼となっているため、ぜひ肩の力を抜いて楽しんでいただければと思います。